

「美濃焼産業観光振興補助事業」 審査結果一覧

No.	申請者名	事業の種別 (要綱該当項目)	事業名	事業概要等	整備(出展) 場所等	補助申請額	交付率	審査後の交付 上限額
1	株式会社井澤コーポレーション 代表取締役 井澤秀哉	要綱第3条(3)見本市等出展事業に該当	場と間 展示 会出展事業	(株)井澤コーポレーションのフラッグ店舗である「at Kiln AOYAMA」オリジナルプロダクトのプロモーション及び販売。美濃の最大の特徴である「土」に焦点を絞り、素材開発から行き、土の持つ新たな価値のアピールを行う。出展後、BtoCについては、フラッグ店舗で販売。BtoBについては、都内の有力店舗とのコラボレーションを積極的に行い、ブランドコンセプトにイメージを伝え販売につなげていきたい。また、H27年度に完成した司電気炉のシェア工房と連携を図り、東京と多治見をつなぐイベントを開催していきたい。	スターライズタワー(東京タワー下)予定	1,000,000 円	100%	1,000,000 円
2	有限会社ゼルポティエ 代表取締役 熊谷明隆	要綱第3条(3)見本市等出展事業に該当	陶磁器上絵加工製品販路拡大のための展示会出展	地場産業である美濃焼上絵付け製品の良さを全国的に知らせ、販路を開拓するとともに上絵付けの加工技術を維持発展させるため展示会に出展する。出展をとおして、美濃焼のすばらしさ、技術の高さをアピールする。出展後は、OEM製品の受注拡大に努め上絵製品の生産業拡大を目指す。	国立代々木競技場第一体育館	189,089 円	100%	189,000 円
3	虎溪窯 若尾昌宏	要綱第3条(1)ア及びイに該当	虎溪窯陶芸道場整備事業	市民への貸し出しを目的に、虎溪窯陶芸道場を開設。現在使用しているろくろが20年以上経過しているため、故障しているものが多い。また、現在使用中の窯が老朽化により補修が必要である。ろくろを購入し、窯を修理することで、多人数のグループの受け入れが可能になる。また、窯の修繕により、多くの陶器が焼成でき、本格的な陶器ができる。	多治見市住吉町2丁目29番地	1,364,000 円	100%	1,364,000 円
4	協同組合ケーエスジー 代表理事 中島猪成也	要綱第3条(4)その他市長が適当と認める事業に該当	美濃焼タイル展・「タイルの明日を考えるシンポジウムin東京」	「美濃焼タイル」の認知度が低迷している昨今、美濃焼タイルのブランド力を高め、大手メーカーや廉価な中国製品との差別化を図り市場の巻き返しを目指すため、建築関係業界を対象に展示会を開催する。会場となる㈱イトーキは事務機器・設備等の大手であり、また、NGO健康都市活動支援機構と連携することで、健康や環境に配慮した都市や、街づくりに積極的に取り組む企業・団体等をターゲットに集客できる機会になる。開催後は、建設関係業界に設計段階で「美濃焼タイル」が取り入れられるようなプロモーション活動を行ってきたい。また、環境配慮型タイルを美濃焼タイルのイメージアップ製品として捉え、環境関連業界との連携をすすめていきたい。モザイクタイルミュージアムと連携し、相互に美濃焼タイルの情報提供を行っていく。	イトーキ東京イノベーションSYNQA(東京都中央区京橋3-7-1 相互館110タワー)	1,000,000 円	100%	1,000,000 円
5	fuca 代表 加藤貴也	要綱第3条(4)その他市長が適当と認める事業に該当	横浜「赤レンガ」における日中韓陶芸家交流展による美濃焼作品のPR	陶芸を通して交流している日本、中国、韓国のグループ展「日韓中陶芸交流展」を開催する。「花器」をテーマに制作したものをを用いて華道家とのコラボレーション展示またはパフォーマンスイベントを予定。展示会をとおして、首都圏のバイヤー、関係者に美濃焼作家の作品をアピールし、顧客獲得を目指す。また、首都圏の顧客、海外客のインバウンド消費に対しても力を入れていく。	株式会社横浜赤レンガ1階(横浜市中区新港1丁目1番2号)	769,710 円	100%	634,000円 ※申請額の一部を補助対象経費外としたため
事業合計						4,322,799 円		4,187,000 円